

茨木市障害者地域自立支援協議会定例会(第130回)議事録

令和6年8月22日(木)10:00~11:20

於:本館6階第1会議室

司会:菜の花

記録:リーベ

1 7月事務局会議の報告について

【資料①】7月事務局会議議事録 発達支援課より

・質問なし

2 定例会メンバーからの報告・意見交換

【資料②】定例会シート

・茨木支援学校

高等部1、2年生では、保護者が事業所に直接問い合わせをしてのセルフ見学会や合同見学会を無事に終えた。いろいろな形での見学会があり、保護者にとって良い機会となった。新規開設事業所を中心に5カ所ほどの事業所の様子について動画による情報発信も行う。他の利用者がいない場面の紹介にはなったが、それをきっかけに見学に繋がるとこともあり、喜ばれた。

1、2年生の体験実習と3年生の実習が7、8月に重なるので課題となるところもある。

・相談支援部会

7月の部会では「あすてっぷ茨木」の職員による制度説明と事例報告、茨木市社会福祉協議会の職員より「権利擁護センター」開設についての報告を受けた。

・就労支援部会

企業向けセミナーの開催に向け、内容等を検討中。茨木市内・外の企業に参加いただけるように考えている。話をしていただける企業が決めれば、告知を予定。多くの企業に参加いただけるよう広報の方法も工夫していく。今年度は支援機関の参加も検討しており、企業と福祉の定例の場となればとの期待もある。

・当事者部会

吹田市の当事者部会への見学、交流を調整中。総合学習交流については、茨木市社会福祉協議会と話し合い、ヘルプマークリーフレットを小学校に持っていけたらと考えている(ヘルプマークについてのアンケートの実施も検討中)

・こども支援部会

災害に関する取組について、茨木保健所を中心に、各参加機関での訓練や備蓄の状況など情報共有を行った。いばらき自立支援センターぽぽんがぽんが所有する「防災紙芝居」の

紹介を行った。

・地域移行・地域定着部会

8月1日 地域移行についての検討会「にも会議」(精神障害のある方の地域移行に関する研修会)を開催し、多数の参加があった。次回は、来年2月に予定。共同事務費の支出について報告を行う予定。

・障害福祉サービス事業所連絡会

7月12日 総会、研修会、交流会を開催。研修会では、被災障害者支援団体 理事を講師に、防災や災害時についての話をしていただき、グループワークにも取り組んだ。日頃より顔の見える関係作りを大切にしており、交流会も実施。9月13日にもサービス支給や障害支援区分に関する研修会を開催予定。事業所連絡会のメンバー他、相談支援事業所や認定調査に携わる人に参加を呼びかけたい。

3 令和6年度第1回全体会報告

【資料①】7月事務局会議議事録

【資料③】7月事務局会議シート(全体会振り返り)

(意見)

・時期について 今回のように6月実施でよいという意見が大半であった、6月下旬、7月開催も視野に考えていきたい。

・当事者委員より、説明された内容、言葉が難しかった。わかりにくい表現を避けてほしいとの意見があった。

以前は、この言葉はどういう意味ですかなど聞いてくれていたが、今回はそれを質問するのも難しいような状況であった。問いを発しにくい雰囲気もあるので、全体会途中のタイミングで「分からないところがなかったか」などと聞くのもよいのではないか。

・資料は事前に配布されているので、その場で質問が難しくても事前に説明できる機会や調べるヒントを事前に得られるような場面があればよいのではないか。

事前に調べて参加しても、説明の中で分からない言葉が出てきたり、資料の流れと全く違う話があったりすると、どこを説明しているか、何を質問したらいいか分からなくなってしまうところもあると感じられるやり取りもあった。

・決められた時間通りにしないといけないところと、丁寧にしなければいけないところとで難しさもあるが、よりよい形での実施を検討していく。

・次回はより活発な意見交換ができるように、議題の順番や時間配分も考えていきたい。委員の方が語りやすい雰囲気づくりも必要となってくる。

第2回全体会は、令和7年1月16日予定。

4 自立支援協議会方針について

議題1 自立支援協議会方針

「活かす」→「生かす」に変更 ⇒定例会にて承認

- ・公用文では常用漢字表にある字種（漢字）や音訓を使うことを原則。「活」の字は常用漢字だが、「いかす」という読みは常用漢字表には載っていない。
- ・「いかす」は原則的には「生かす」と表記する。「活かす」を用いる場合は「活かす」とルビを振る。（文化庁 文化審議会「公用文作成の考え方」より）

自立支援協議会方針は「生かす」とすることで、委員に提案する。

（次年度第1回全体会にて説明し、承認を得る）

5 その他

○令和6年度第1回地域自立支援協議会 情報交換会について

〈研修報告を受けての意見〉

- ・講義資料にある、「自立支援協議会をもう一度見直してみても」との提案について、茨木市でも行いたいと感じた。
- ・自立支援協議会の機能の一つである開発機能（地域の社会資源の開発、改善）などに関して、茨木市は弱いと感じるところがある。以前はつくろうサービスの仕組みを入れてやっていたが、予算の関係もあって実現しないこともあった。
- ・権利擁護機能の不足も感じるため、事務局がエンジンになって取り組めるのがよいのではないか。
- ・開発機能、個別課題から地域課題の連携への仕組みづくりが必要と考える。
- ・他市の取組でよいものがあれば情報収集していきたい。

○共同事務費の活用について（研修啓発担当）

地域移行支援部会の研修開催時に、お茶代346円、講師の本2冊の購入（紹介のため。1冊2,970円）合計6,286円の支出について承認を得たい。（事務局メンバーには事前にメールで承認済み）→承認

共同事務費（自立支援協議会に関わること、講師費用関係以外の必要な雑務関係）支出については、事務局会議と定例会で承認が必要（年間66,000円）

(見学に行くための交通費なども対象、その他 DVD、イベント時の協議会スタッフジャンパーなど購入してきた。これまで自立支援協議会で購入してきた書籍やDVDについては、一覧表を用いて事務局が年度ごとの当番制で管理している。)

○茨木市総合保健福祉審議会の委員選出について報告

以上

○次回の定例会は、10月24日(木)10時～
場所:Zoom にて開催
進行:藍野療育園、あゆむ